

## 講義レジュメ

講 師 山内 宏泰

内容・テーマ

地域密着型の博物館

期 日 平成 29 年 10 月 5 日

I. リアス・アーク美術館の概要。／II. 地域密着型とは。

III. 地域乖離型とは。

III-1. 地域乖離型になる原因。／III-2. どうすれば距離感が縮まるのか？

III-3. 学芸員によるアウトリーチ活動の重要性。

IV. 特殊な事例として～地域密着型博物館と災害。／V. 博物館のミッション、学芸員のミッション。

VI. まとめとして。

-----  
付録：地域密着型の博物館、診断項目

- ① 自館が所在地域に存在する必然性はあるか？
- ② 自館が所在地域に存在する必要性はあるか？
- ③ 所在地域に対し成果を示すことができているか？
- ④ 弊害は起きていないか？
- ⑤ 設置者と管理運営者の理念は合致しているか？
- ⑥ 地域住民が誇りとするものを共有できているか？
- ⑦ 所在地域の経済界と交流があるか？
- ⑧ まちづくりにはたす役割を担っているか？
- ⑩ 専門領域を越えた利用価値を地域に提示できているか？
- ⑪ 大災害発生時に果たすべき役割を自覚できているか？
- ⑫ 学芸員は積極的なアウトリーチ活動を行っているか？
- ⑬ 学芸員に教育者としての自覚はあるか？
- ⑭ 学芸員の潜在能力は発揮されているか？
- ⑮ いざというとき、信念を持って「ノー」と言えるか？

-----  
参考文献：「東日本大震災の記録と津波の災害史」常設展示図録／リアス・アーク美術館